

「アジア不思議：ローカル版 2005」の概略

今年度はすでに多くの学校から参加希望を頂いており、2～3校ごとにチームを作り、実践を行うこととなります。基本的には、各学校・先生の方針で制作を進めて頂ければと思いますが、共通のカリキュラムについて以下に説明させていただきます。各過程の具体的な方法等については、別途ご案内致します。昨年度までの実践につきましては、添付の学会論文をご参照下さい。

1. 紹介ビデオの作成

各ゼミ・授業で制作グループを決めてもらい（人数・グループ数は自由）、グループごとに1分以内で紹介ビデオを作成し、交換する。ここでは、カメラに慣れることと、相手校にメンバーの紹介をすることが目的なので、編集はせずに、自由な内容で制作してもらう。

2. イメージマップの作成

相手の地域に対するイメージを言葉にしてイメージマップを作成し、相手校と交換する。異なる地域の学生が自分たちの地域・文化に対してどのようなイメージを持っているのかを知り、それに対して自分たちの本当の地域・文化を知ってもらうためのテーマを考える。

3. クイズ制作（映像／写真）

各グループごとにテーマを決め、1～2分のクイズ映像を制作し、交換する。

4. 交流

相手校の制作したクイズ映像を見て、回答を考え、さらに、インターネット、テレビ電話などの方法で、相手校と映像についてのディスカッションを行う。交流の方法については、アンケートの結果に基づき、各校の事情に鑑みて決定する。

5. 反省会

各大学のゼミ、授業で個別に行う。先生は学生の交流の様子を観察し、ゼミ・授業のテーマに応じて、学生が交流を通して得た気づき・学びを意識化するように導く。気づき・学びは、「異文化理解」とか「メディア・リテラシー」でなくても、各先生が設定する授業のテーマでOK。

6. スタッフ総括

それぞれの大学で、どのようなことが起こったか、どういう気づき・学びがあったか、問題点はなんだったかなどの意見、情報を交換し、次の年の活動につなげる。